

図書館だより



2025年1月発行

唐津市立第五中学校図書館

1月の第五中学校図書館

1月14日に、3学期第1回目の専門委員会を実施しました。新図書委員長さんと新図書副委員長さんを中心により一層充実した活動ができるように工夫をしていきます。またこれまでと同様に、たくさんの生徒が図書館を利用し、図書館活動に関わることができると委員会活動を継続していきたいと考えています。

『継続は力なり』みなさんも知っている言葉だと思います。毎日継続されている朝の読書を実践しているみなさんには、活動を継続することで習得し達成できる力を育むことができていると思います。

3学期も最後までひたむきに頑張りましょう。



3年生のみなさんへ

3年生のみなさんにお知らせです。第五中学校での読書の記録の作成を進めています。

3学期は特に本の返却期限の厳守に協力をお願いするため、連絡票を配布していきます。確認をして本の返却をよろしくお願ひします。

また、昼休みにたくさんの人が学習道具を持って自主学習をしています。ですが館内に忘れ物がとても多いです。退室する時は、しっかり確認をして席を離れましょう。

若い人に贈る読書のすすめ～きみに贈りたい1冊 (読書推進運動協議会HP参照)

『若い人に贈る読書のすすめ』は、卒業式など新たな人生の一歩を踏み出す若い人に読んでもらいたい本を紹介する運動です。今年は4つのテーマが掲げられ、多くの本が紹介されています。本は図書館内のコーナーで紹介し、ここではテーマを掲載します。



1. 考える力、行動力を同世代の物語から感じ取る
2. 「ことば」を交わし世界を広げる
3. 本を読むこと、自分の意見を伝えること
4. 経験をもとに次の一步を踏み出す

またこれから紹介する文章は、リーフレットに掲載されています。

若い人たちが本を読まなくなつたといわれて久しくなります。若い人たちが本を読まなくなつたという、年上の人たちの言葉は、若い時にこそ本を読むべきであったという後悔の言葉でもあります。柔軟な思考、好奇心、あなたのみずみずしい感性、そうしたものを豊かに持ちあわせている若い時に読書をすることは、あとの生き方に必ず大きな実りをもたらします。あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば思いもかけない幸せな本との出会いがきっとやってくるにちがいありません。

毎日、学校生活は「朝の読書を始めましょう」と呼びかけられ、朝の読書の時間からスタートします。本の準備はできているでしょうか？ぜひ図書館で本を選んで読書活動を続けていきましょう。